

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立思斉中学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和3年5月27日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

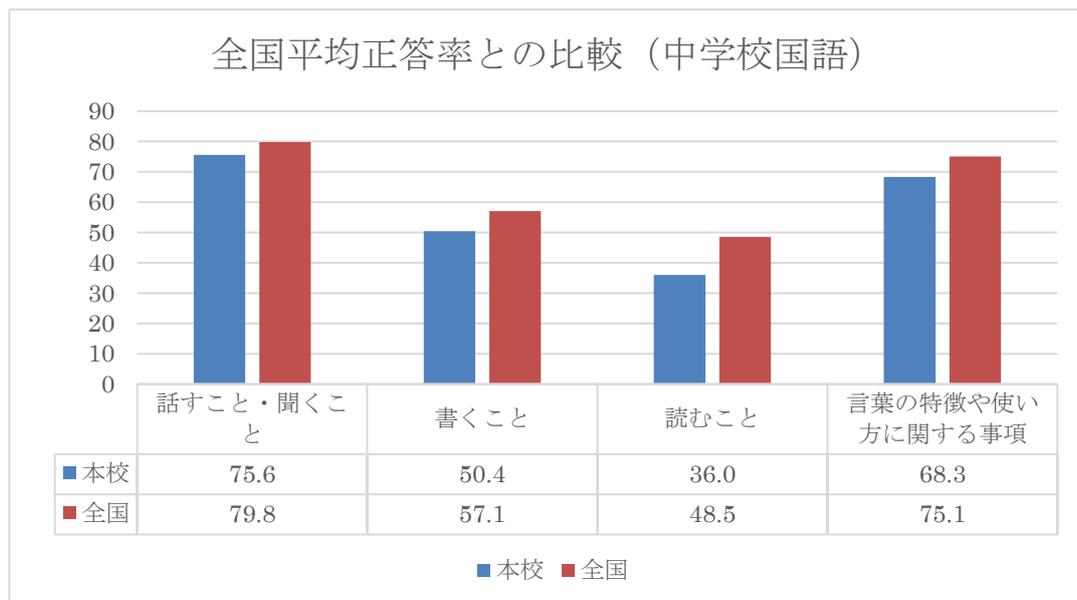
| 生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|---|--|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など |

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

4つの領域とも全国平均正答率を下回りました。特に「読むこと」は全国平均との差が12.5ポイントあります。「読むこと」の中の「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ」の無回答率が39.0%と最も高く、全国平均と比較しても14.9ポイント高くなっています。

(2) 成果と課題

「話すこと・聞くこと」の正答率が75.6%と、比較的高く、全国平均との差も小さいのは、グループでの話し合い活動や1分間スピーチに継続的に取り組んだ効果の表れだと思われます。中でも、「話し合いの話題や方向を捉える」問題は全国平均を超えました。

課題は、文章の内容をよく理解して、それに対して自分の考えを持つことです。そのために、文章読解とディスカッションを組み合わせた言語活動を展開します。また、語彙力の向上も課題の一つです。教科書に準じた語彙資料集を作成し、語彙指導に活用します。「書くこと」の対策としては、身近な体験を題材とした随筆や社会的な課題を解決するための意見文など、作文指導を通して文章力の向上を図ります。

(3) 学力向上のための取り組み

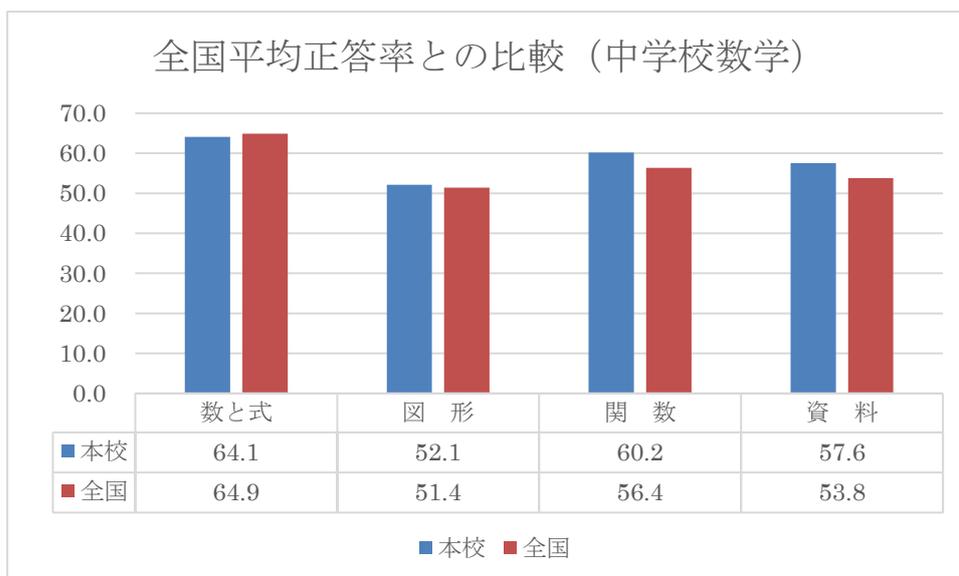
【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながらかく機会を増やします。
- 漢字の読み書き、ことわざ等の学習に一層力を入れるとともに、辞書を活用させ、語彙力を増やします。
- インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。

【ご家庭では】

- 読書を大切にしていましよう。まず大人が本を読み、その感想を家族に語りましよう。それが子供の読書につながり、ひいては語彙力を高め、知識の幅を広げることにつながります。市立図書館の活用もおすすりです。
- 世の中の出来事を話題にしましよう。環境問題や選挙、災害など、様々な事象に対しての大人の感想を子どもに語りましよう。社会的な物事に子どもが関心を持つきっかけになります。そして、何かに関心を持ったら調べさせましよう。主体的な学習の始まりです。

2 数学



(1) 結果

「図形」、「関数」、「資料」の3つの領域で全国平均を上回っています。「数と式」においても全国平均を下回ったが、ほぼ同等の結果でした。また、無回答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査で「整式の加法、減法の計算」「与えられたデータから中央値を求める問題」「図形の条件を用いて説明する問題」「2直線の位置関係の問題」は全国平均の正答率を10%以上上回りました。全国平均の正答率を10%以上低く下回ったのが「扇形の弧の長さを求める問題」「事柄の特徴を数学的に説明する問題」でした。それ以外では「文字を使って方程式を表す問題」など抽象的な問題内容を理解したり、説明したりする問題の正答率が低い結果となりました。

日々の授業や宿題で基礎基本をきちんと身につけさせ、発展的な問題を授業に取り入れることで、考えさせたり、説明させたりする活動を取り組んでいくことが必要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 授業では、与えられた数値を使って作業を進める過程を取り入れるとともに、定着が十分でない生徒に対して、改善を図る手立ての工夫を進めます。
- 自分だけが理解するのではなく、集団で思考し、誰でも理解できる説明ができるよう、集団で課題を解決していく活動を繰り返し取り入れ、説明に対する理解と解決する力を高めます。
- TT少人数指導、ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんが興味をもっている記事や図書、情報等の内容について、時折たずねてみたり、興味を高め理解を深めたりするような共感や称賛、興味を広げる言葉をかけてみましょう。
- 数学を好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。生活場面で数学に関する事柄を探して、話題にしてみてください。身のまわりには美しい図形や曲線を使ったデザイン、数量関係、割合等があります。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

| 調査項目 | 本校 % | 全国平均 % |
|-------------------------------|-------|--------|
| 朝食を毎日食べていますか。 | 89.0% | 81.8% |
| 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。 | 89.0% | 36.3% |
| 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。 | 98.8% | 57.6% |
| 自分にはよいところがあると思いますか。 | 68.3% | 34.5% |
| 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。 | 70.7% | 20.0% |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 | 100% | 74.3% |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 | 98.7% | 81.4% |

すべての項目において、全国平均を大きく上回っています。多くの生徒が、基本的な生活習慣を身に付けることができおり、これからも家庭と学校が協力して継続していったらと思います。

また、人の役に立つ人間になりたいと思う生徒が100%というのも、すばらしいと思います。その気持ちを持ち続けて中学校を卒業し、様々な場所で活躍してほしいと思います。

《家庭学習の様子》

| 調査の項目 | 本校% | 全国平均 % |
|--|-------|--------|
| 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。 | 69.5% | 19.4% |
| 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」 | 7.3% | 12.3% |
| 「2時間以上、3時間より少ない」 | 30.5% | 29.5% |
| 「1時間以上、2時間より少ない」 | 46.3% | 34.1% |
| 「30分以上、1時間より少ない」 | 12.2% | 14.1% |
| 「30分より少ない」 | 3.7% | 6.4% |
| 「全くしない」 | 0.0% | 3.5% |
| 新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。 | 53.6% | 34.6% |

家庭学習については、1時間以上している生徒が、全国平均より若干上回っています。また、自分で計画を立てて勉強している生徒が約7割で、全体的には充実した家庭学習を行うことができているようです。今後とも、この傾向を継続するために、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、各学年に応じた自主学習ノートの取組を行っています。特に、確かな学力を身に付けさせるために、授業の振り返りを意識した自主学習ノートを書くよう指導しています。
- 各教科で、生徒が家庭で行う課題の工夫を行っています。たとえば、授業とのつながりのある課題や授業の振り返りができる課題、授業の内容を生かして取り組む課題など、目的をもって家庭学習の課題を与えるようにしています。

【ご家庭では】

- まずはバランスのとれた食事と十分な睡眠が子どもたちの元気の源です。インターネットによる動画視聴やSNSの利用、ゲームなどにはまってしまって、食事や睡眠の時間を奪われてしまう生活にならないよう、ご家庭でのルールを決められて、健やかな成長のサポートをお願いします。
- 「家庭学習の手引き」をご覧ください。学習時間のめやすや、自主学習の説明などを参考に、自分で決めて学習できるように励ましてください。